

甲南大学人間科学研究所公開講演会

- 講師:野崎優樹先生(京都大学特定講師)

本年4月に本学人間科学科講師ご着任予定
ご著書として右の本がある

- テーマ:情動知能の科学的理解に向けて:
心理学研究を通じた挑戦
- 日時:2018年3月27日(火) 15時~17時
- 場所:18号館3階 講演室



情動コンピテンスは、どのように育まれ、社会的な場面での反応や行動に活かされるのか。社会的認知理論からアプローチする

概要: 社会で活躍する上で、大事な能力とは何でしょうか？ いま、知能指数 (IQ) に代わる重要な能力として、他者の感情を理解したり、自分の感情を制御したりする能力である、「情動知能 (Emotional Intelligence; EI)」という概念に教育や産業から大きな関心が寄せられています。しかしながら、情動知能という概念が正確には何を表しているのか、といった基礎的な側面については、まだまだ多くの議論の余地があるのが現状です。本講演では、講演者がこれまで行ってきた、質問紙調査・実験室実験などの心理学研究の知見を紹介しながら、情動知能という概念は、いかに科学的に理解可能なのかを議論します。そして、これらの基礎的な概念の考察が、情動知能のトレーニングなどの応用にどのように貢献しているのかを考察します。

講演者紹介: 京都大学大学院教育学研究科・デザイン学大学院連携プログラム特定講師。2016年に京都大学大学院教育学研究科で博士号を取得した後、京都大学こころの未来研究センター研究員、日本学術振興会海外特別研究員 (ベルギー国ルーヴァン・カトリック大学) を経て、2017年2月より現職。情動知能を中心テーマに、質問紙調査や実験手法を用いた心理学研究を行っている。主著に、『情動コンピテンスの成長と機能に対する社会的認知理論からのアプローチ』(2017年, ナカニシヤ出版)。